

各 位

会 社 名 株式会社テンポスバスターズ
代 表 者 代表取締役社長 森下 和光
(JASDAQ コード番号 2751)
問 合 せ 先 管理部長 毛利 聡
電 話 番 号 03-3736-0319

株式会社テンポハンズの株式の取得（子会社化）及び
連結子会社の異動（株式譲渡）及び連結子会社に対する債権放棄及び
特別損失の発生に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 2 月 16 日開催の取締役会において、株式会社テンポハンズ（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長 森下 篤史、以下「テンポハンズ」）の全株式を取得し、同社を直接所有の完全子会社化すること及び当社連結子会社である株式会社ハマケン（以下「ハマケン」）の当社保有全株式を同社の代表取締役である清水進氏に譲渡することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、同取締役会において、当社の連結子会社であるハマケンに対する債権を一部放棄すること及びそれに伴い平成 23 年 4 月期決算（連結）及び平成 23 年 4 月期決算（単体）において特別損失を計上する予定でありますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 株式の取得及び連結子会社の異動（株式譲渡）及び連結子会社に対する債権放棄の理由

i. 前提

テンポハンズは、平成 21 年 8 月まで当社直接所有の連結子会社でありましたが、同年同月に当社の連結子会社であるハマケンへ全株式を譲渡いたしました。これは、将来的にハマケンをホールディング会社とした神奈川県エリアの独立分社化への試験運用の一環として当社の政策のひとつとして行ったものであります。また、その際にハマケンよりテンポハンズの全株式を、当社からハマケンへの貸付金の担保として差し出されておりました。

ii. 理由

当社は、平成 18 年 6 月に既存事業との相乗効果が高いとの判断により、ハマケンの株式を取得し今日に至っておりますが、当社を取り巻く厳しい経営環境の中、今後は従前にも増して有限の経営資源を当社自体に集中的に投下して事業展開すべきであると判断しており、他方でハマケンにおいては、当社との営業上の相乗効果が当初期待したよりも少なく、同社の主要顧客である外食産業における不況の影響もあり、長らく続く経営不振から資金繰りが困難な状態に陥ったため、この度、一から経営を立て直したいという意向でありました。

このような状況の下、ハマケンより当社の持つ同社への債権の一部を放棄して欲しいとの依頼があり、それに伴い同社の株式の取得を同社の代表である清水進氏が希望したため、当社は下記に示しますテンポハンズの業績及びハマケンの業績を鑑み、当社の業績への影響を総合的に判断した結果、当社が保有するハマケンの株式を清水進氏に譲渡することといたしました。

上記の理由により、ハマケンは当社の連結対象外となりますので、当社はハマケンより貸付金の担保として差し出されていたテンポハンズの全株式を取得及びハマケンへの債権の一部放棄を決議するに至りました。

2. 株式会社テンポハンズの株式の取得（子会社化）の概要

i. 異動する子会社（株式会社テンポハンズ）の概要

(1) 名称	株式会社テンポハンズ		
(2) 所在地	神奈川県横浜市戸塚区		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 森下 篤史		
(4) 事業内容	飲食店向け機器販売事業		
(5) 資本金	90,000 千円		
(6) 設立年月日	平成 18 年 5 月 19 日		
(7) 大株主及び持株比率	株式会社ハマケン 100.0%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	連結子会社	
	人的関係	役員 1 名の派遣	
	取引関係	売買取引	
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
決算期	平成 20 年 4 月期	平成 21 年 4 月期	平成 22 年 4 月期
純資産	111,394 千円	121,293 千円	139,453 千円
総資産	195,450 千円	195,543 千円	418,116 千円
売上高	628,545 千円	749,903 千円	1,259,237 千円
営業利益	23,071 千円	13,625 千円	58,398 千円
経常利益	23,645 千円	13,902 千円	58,150 千円
当期純利益	10,013 千円	9,898 千円	37,160 千円

ii. 株式取得の相手先の概要

(1) 名称	株式会社ハマケン		
(2) 所在地	神奈川県横浜市泉区		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 清水 進		
(4) 事業内容	内装工事請負事業		
(5) 資本金	91,800 千円		
(6) 設立年月日	昭和 62 年 2 月 2 日		
(7) 大株主及び持株比率	株式会社テンポスバスターズ 88.9%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	連結子会社	
	人的関係	なし	
	取引関係	内装工事の紹介	
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
決算期	平成 20 年 4 月期	平成 21 年 4 月期	平成 22 年 4 月期
純資産	▲349,958 千円	▲406,970 千円	▲428,329 千円
総資産	307,164 千円	233,823 千円	333,327 千円
売上高	1,498,243 千円	1,569,499 千円	1,502,252 千円
営業利益	11,373 千円	▲30,461 千円	▲2,296 千円
経常利益	13,113 千円	▲36,802 千円	▲6,582 千円
当期純利益	10,369 千円	▲57,012 千円	▲21,358 千円

iii. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数：0 個) (所有割合：0.0%)
(2) 取得株式数	2,000 株 (議決権の数：2,000 個) (取得価額：150,000 千円)
(3) 異動後の所有株式数	2,000 株 (議決権の数：2,000 個) (所有割合：100.0%)
(4) 取得価額の算定根拠	当該子会社の簿価純資産額を基に当社と株式譲渡の相手先が協議し決定いたしました。

iv. 日程

取締役会決議 平成 23 年 2 月 16 日

譲渡日 平成 23 年 3 月 1 日

3. 連結子会社の異動（株式譲渡）の概要

i. 異動する子会社（株式会社ハマケン）の概要

(1) 名称	株式会社ハマケン		
(2) 所在地	神奈川県横浜市泉区		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 清水 進		
(4) 事業内容	内装工事請負事業		
(5) 資本金	91,800 千円		
(6) 設立年月日	昭和 62 年 2 月 2 日		
(7) 大株主及び持株比率	株式会社テンポスバスターズ 88.9%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	連結子会社	
	人的関係	なし	
	取引関係	内装工場の紹介	
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
決算期	平成 20 年 4 月期	平成 21 年 4 月期	平成 22 年 4 月期
純資産	▲349,958 千円	▲406,970 千円	▲428,329 千円
総資産	307,164 千円	233,823 千円	333,327 千円
売上高	1,498,243 千円	1,569,499 千円	1,502,252 千円
営業利益	11,373 千円	▲30,461 千円	▲2,296 千円
経常利益	13,113 千円	▲36,802 千円	▲6,582 千円
当期純利益	10,369 千円	▲57,012 千円	▲21,358 千円

ii. 株式取得の相手先の概要

①清水 進

(1) 住所	神奈川県横浜市戸塚区
(2) 上場会社と当該個人の関係	当社と当該個人（その近親者、当該個人及びその近親者が過半数所有している会社等並びにその子会社を含む。）との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該個人並びに当該個人の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。

iii. 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	40,560 株 (議決権の数 : 40,560 個) (所有割合 : 88.9%)
(2) 譲渡株式数	40,560 株 (議決権の数 : 40,560 個) (譲渡価額 : 0 千円)
(3) 異動後の所有株式数	0 株 (議決権の数 : 0 個) (所有割合 : 0.0%)
(4) 売却価額の算定根拠	当該子会社の簿価純資産額を基に当社と 株式譲渡の相手先が協議し決定いたしました。

iv. 日程

取締役会決議 平成 23 年 2 月 16 日

株式譲渡契約締結日 平成 23 年 2 月 28 日 (予定)

譲渡日 平成 23 年 3 月 1 日 (予定)

4. 連結子会社に対する債権放棄の概要

i. 債権放棄の内容

①債権の種類 : 貸付金 (株式会社テンポハンズの全株式分の取得価額を差し引いた額)

未収入金

立替金

②債権の金額 : 240,000 千円

5. 特別損失の発生の概要及び今後の見通し

本件により、株式会社テンポハンズは当社直接所有の連結対象となり、株式会社ハマケンは当社連結対象から除外されます。

また、当該子会社の異動及び債権放棄に伴い、平成 23 年 4 月期決算（連結）において、特別損失として約 290 百万円及び平成 23 年 4 月期決算（単体）において特別損失として約 240 百万円を計上する見込みであります。

なお、本件により、平成 23 年 4 月期の当社の通期業績見通しに与える影響につきましては、現在精査中であり、影響額が明確になり次第速やかにお知らせいたします。

以上